

野原精密木工株式会社

〈事業計画名〉国産材に適応した油圧式木製パレット製造システム構築による品質向上



独自着想のコンピュータ制御システムによる 国産材木製パレットの品質向上

事業の背景

海外原木の高騰による国産材へのシフト

海外原木の高騰により国産材活用へ大きく舵を切る中、国産材特有の課題(水分が多く強度が劣り、釘割れ発生が多い)解決を早期に行い、品質向上と同時に生産能力増強に取り組む事が急務となった。

当社の保有機器による従来の油圧式釘打ち方式では、油圧が低下した場合、釘の打ち込みが安定しないため、木材と木材の接合が不十分となり、パレット製造品質が安定しないという課題が発生。そのため当社の生産設備・能力では限界となっており、さらに顧客の発注依頼が増加している中、自社で生産できる数量のみの販売となっており、機会損失となっていた。

事業の成果

釘割れ発生を低減し、品質向上体制を構築

コンピュータ制御により常時油圧力を監視し、木製パレットの完成品質を確保できる設定範囲内の油圧レベルのときのみ釘打ちする油圧制御方式を確立。

さらに接合部材にステンレス製釘を用い釘割れ発生を低減し、高品質かつ安定した生産体制の構築を実現。不良発生率を低減し、生産能力増強が可能となった。

以上の結果、当社の木製パレットにおける市場競争力が向上。既存・新規顧客要求にタイムリーに応えることが可能となり、当社経営力向上に繋がった。



野原精密木工株式会社の概要

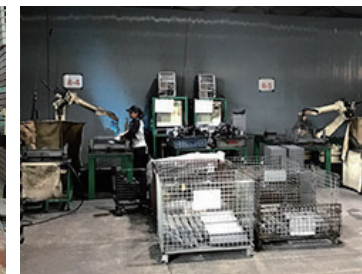
「お客様が安心してお使い頂ける商品」を的確に把握し、最適な品質を設定

昭和19年創業の当社は、輸送用の木製パレット等の製造からはじまり、現在は梱包用部材、合板によるパレット、輸出用スチール枠、スチールパレット各種等々、物流パレット全般の製作・製造・販売を行っている。

木製パレット製造分野では、最新の機械を導入し、品質管理の徹底、小ロットからレンタルパレット、各社各様の大小サイズを含め月産約16,000～20,000枚の製造を可能とし、1枚当りに掛かる製造コストの削減をしている。

鉄製分野では主に輸出用トラクターやエンジンの輸出に関する梱包枠全般の製作・製造を行っている。

短納期・少量多品種に対応でき、お客様からのありとあらゆる要望、サイズ、仕様に対応するべく、小回りのきいたサービスを提供できるよう日々努力している。



野原精密木工株式会社のこだわり

高い生産技術、工程改善技術力に裏付けされた自社による一貫生産



奈良県内唯一の木製パレット製造業者である当社は、自社による原木から製材・製造・販売まで一貫生産できる数少ない工場である。

全社員がパレットの製造工法・技術を磨き、高い生産技術・工程改善技術力を有することにより、品質・生産性の底上げを図り、常に顧客課題、顧客 要望に応える体制づくりに努めている。

野原精密木工株式会社の企業方針

時代の変化を察知し、時代に合わせた物流の荷役形態を先取り

今後も社会に必要とされる企業であるために、時代の変化を先取りし、既存の概念にとらわれない物流の荷役形態の先駆けとなる企業を目指します。

さらに、2000年からはリサイクル・リターナブルできる環境に配慮したスチールパレットの製作にも取り組んでおり、環境問題にも寄与できる体制づくりを積極的にすすめている。



野原精密木工 株式会社

業種分類 木材・木製品製造業

事業内容 木製パレット・スチールパレット・輸出用木箱・輸出用鉄枠・輸出用熱処理材全般の製造・販売

代表者名 代表取締役社長 三谷 篤史

所在地 奈良県五條市住川町 888-8

連絡先 TEL:0747-22-2271/FAX:0747-25-0902

ホームページ <http://nohara-seimitsu.co.jp/>

E-MAIL n-s-m@mug.biglobe.ne.jp